



# MARIANISTES

## —— マリアニスト ——

### 解雇？ 派遣切り？

マリア会司祭 末吉 克久

昨年の夏前から、中学生たちと堅信の秘跡を受けるための準備の学習会を始めました。その初めに、他の人に自分を出来るだけ知ってもらうために自己紹介を自由に書いてもらいました。名前、所属中学名、好物等々書いてくれました。しかし、自分がカトリック信者であることを書いた人は、一人もいませんでした。自分を知ってもらうにあたって、自分の信仰はどれほどのものなのでしょう。中学生が書かなかったのが云々ではなく、毎日<召命を求める祈り>の中で、「…福者シャミナードのカリスマを生きるマリアニスト信徒・修道者の生活が、それを見る人々に、福音宣教の使命に対する愛を起こさせ、汚れのないおとめマリアに対する私たちの奉仕の生活に参加しようとの心を抱かせるものとなりますように。…」と祈る自分自身への問いです。

私は、福者シャミナードのカリスマに生きるマリアニストの修道者。シャミナード師のカリスマは？ マリアニストのアイデンティティは？ 定義づけること・言葉で表現することができているのでしょうか。まして、本当に生きていますでしょうか。

いい加減な小生の今の心境は、カトリック信者の家庭に生まれ、幼児洗礼を受け、やがてマリア会員として受け入れられ、その中で司祭に叙階され、共同体の一員として過ごしてきた日々。そのいただいた恵みの数々に感謝しつつ、その喜びを生きるこ

とを大切にとの思いです。しかし、思いは思い。具体的に、実際どう生きているの？ あれもこれも大切などと考えているうちに、虻蜂取らずで、思いに縛られて喜びを忘れていて自分に出会います。喜びなしで、信仰に生きていると言えるのでしょうか。喜びを取り戻すには？

<召命を求める祈り>をもう一度最初から唱えてみました。「…その助け手として、私たちを召し出してくださいました…」。そうです。主が召し出してくださいましたのです。私は、紛れもなく、主が保証してくれる正真正銘のマリアニストなのです。主は、決して解雇しません。派遣切りはしません。洗礼の秘跡も修道誓願も叙階の秘跡も、主による生涯保証です。そして、主の母マリアは言います。「彼が何か言いつけたら、そのとおりにしなさい」と。ご自身「お言葉どおり、この身に成りますように」と言われ、生きたように。

召されて遣わされた共同体の中で喜びを見失う原因は、自分を主役とした劇を演出しなければなどと勘違いしているから。死ぬ苦しみではなく、そんな自分に死ねないで苦しんでいる私。兄弟をとおして働きかける主の霊（聖霊）に素直になること。委ねること。

教会の典礼歴は、四旬節。「主の十字架に与って、真に死ぬことができますように」。そんな思いを持って身構える愚かさを捨てよう。ただひたすらみ旨のままに。

## 韓国巡礼・・・その3・・・

レヰナ・チェリ 古畑久美子

殿洞聖堂巡礼の後、私達は致命者山<sup>チミョンジャサン</sup>に向かいました。この地は、キリスト教迫害期に全州地域で殉教した童貞夫婦を追慕するために作られた墓地。標高300mの高さにあり、頂上に聖堂があります。十字架の道行きにならって祈りを捧げながら、頂上の聖堂を目指しました。途中で3時になり、十字架の前で「3時の祈り」と「マリアへの奉獻の祈り」を捧げました。苦しくて、大変な山道でしたが、頂上に着いたときは何とも言えない思いになりました。ふと見上げると、山頂の岩が、見る角度によってキリストの横顔や祈りを捧げるマリア様に見え、私達を待っていてくれました。頂上の墓地から見える岩はキリストの横顔でした。案内によると、マリア様に見えるところがあるはずなのに、なかなか見つかりません。下りの道を行く途中、山の方に向かう獣道を発見、そこに若い韓国の青年がいたので、

「この道を行ったらマリア様の岩がありますか？」

と尋ねると、

「あるよ。マリアの岩」

「この道を行ってもいいの？」

「さあ、俺達は行かないけれど・・・」

と、こんな会話をして、ここまで来たのにマリア様に会わずに帰るわけにはいきません。もうひとふんばりこの岩場を登ろうと思い、先に下っておられる青木神父様の姿を見つけて、思わず

「神父様、戻って来て下さい」と。

わけの分からない会話に、ニッコリ笑って戻って来られました。その後、ひどい岩だらけの細い獣道を登ることになったにもかかわらず、だまって登り着いたところに、私達を待っていて下さったのは、確かに祈りを捧げているマリア様でした。汗だけで辿り着いてマリア様に出会えたとき、疲れがスッと引いたのを覚えています。

「よくいらっしやいましたね」

と、そう語るような、さわやかな風を感じたとき、そこにいた誰もが、手を合わせて聖母マリアへの祈りを唱えていました。

その後、ひたすら獣道を下り、駐車場を目指し、やっと民家のあるところに着いて食べたアイスキャンデーの美味しさは、忘れられない思い出の一つになりました。ものすごく疲れて大変だったはずなのに、下ってきくと、疲れや大変さはすっかり忘れていました。致命者山全体が不思議な力で守られているかのような、祈りを通しての山道だったせいか、すがすがしく、晴れ晴れとした気持ちを抱かせていただいた不思議な山でした。

3日目の朝早く、カルメモ巡礼からスタート。西の黄海の近く、韓国カトリック最高の殉教聖地で、多くの石碑が建てられています。海岸は殉教者の血によって真っ赤に染まったと伝えられています。現在の砂浜も赤褐色です。当地の神父様とシスター達の暖かなもてなしを受けました。私達のために早朝にもかかわらず、ミサの準備をしてくださり、ミサ後には伝統茶と伝統菓子のもてなしを受けました。聖堂までの坂は、十字架の道行きになっており、祈りを捧げながら聖堂に向かうことができます。道行きの最後に、大きな手がありました。これは十字架から降ろされたイエスが神の御手に包まれたことを示すとの説明に、安堵を覚えました。そして、改めて父なる神の偉大さ、そこにすがり心安らかに生きたいと願う自分を知りました。



## 連載 マリアへの奉獻 (7)

《聖母マリアの奉獻》 (つづき6)

マリア会司祭 富来 正博

信仰の旅路における聖母マリアの奉獻を見てきました。マリアの生涯は父なる神への完全な委託の連続でした。それは「私は主のはしためです。お言葉のとおりこの身に成りますように」との神のみ旨の受託に始まり、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」というおん子イエスに対する信頼として表明され、最後に無言のうちにおん子イエスのいけにえに合わせて自分を父なる神に捧げられた完全な奉獻でした。父なる神は、このように奉獻を貫かれたマリアに対して、救いの歴史における特別の役割をお与えになりました。母としての役割です。偉大な人、いと高き方の子、聖なる者、神の子の母となることです。このことは人類の救いに徹底的にかかわることを意味します。そして神は、マリアが神の子の母として人類の救いにかかわるだけでなく、人類の母となることを望まれました。教会は、十字架上でのイエスの「婦人よ、ご覧なさい。あなたの子です」、「見なさい。あなたの母です」と言う言葉の中に、マリアが教会の母、救われるすべての人々の母であることの宣言を読み取っています。

このように、聖母マリアの奉獻はマリアの個人的な奉獻行為にとどまらず、その広がりには人類の救いにまで及ぶものです。このことは奉獻に含まれるもう一つの要素に私たちの注意を導くものです。それは奉獻の福音宣教的側面です。

先にイエス・キリストの奉獻について考察しました。イエス・キリストは人類の罪の許しを取次ぐ唯一の大祭司であり、同時に罪を贖う唯一のいけにえとなられたこと、そしてマリアはその奉獻行為を通してイエスの救世的業に完全に一致されたことを、あらためて心に留めておきたいと思えます。イエス、マリアの存在はまさに人々の救いのための存在であったと言う

ことができるでしょう。

\*\*\*\*\*

## 新奉獻者の紹介

去る1月18日(日)、調布の晃華学園聖堂において、「2009年・マリアニスト家族の日」のミサが執り行われました。

その中で、新しく5名の方がマリア様への奉獻をされました。すでに昨年のMLC総会の際のミサにおいて奉獻をされた1名の方を含めて、ご紹介いたします。

### シオン共同体

アンナ・マリア 與倉由希子

### ミレニアム共同体

マリア・ベルナデッタ 原 鞠子

マリア・テレジア 原 みどり

マリア・テレジア 野沢 昭子

### ステラマリス共同体

マリア・エリザベト 野寺 侑己

### オリーブの木共同体

アンジェラ 浅野晶子



ミサの後、会場をラウンジに移し、親睦会やミニバザーなどが行われ、よい交流ができました。(編集部)

# お知らせ

## 信徒のための黙想会

日時：2009年4月25日（土）

10:00～16:00

場所：汚れなきマリア修道会

町田祈りの家

テーマ：

“主よ、あなたは何かもご存知です”

指導：Sr. 田中昌子

(汚れなきマリア修道会)

費用：1500円

申込み：町田修道院 Sr. 高尾

Tel 042(722)6301

Fax 042(725)6317

## 予告 MLC総会

来る5月30日（土）に総会を予定しています。詳細は5月号の本紙、ならびに各共同体を通してお知らせいたします。奉献会員のみなさまの積極的なご出席をお願いいたします。

(MLC執行部)

## 新刊書のご案内

朝山宗路神父（マリア会）著

### 『マリアの素描』

～福音書、ヤコブの原福音書、  
コーランなどに見るマリアの姿～

発行：サンパウロ（A5版・476頁）

定価：3300円

## 第9回チャリティーコンサート

暁星小学校聖歌隊による

☆☆小さな星たちのコンサート☆☆

日時：2009年3月28日（土） PM2:00開演（開場1:30）

会場：文京シビックホール（大ホール）

入場料：2000円（全自由席）

チケットのお求めは、暁星小学校事務室（03-3261-1510）

サンパウロ（03-3357-8642）

ドン・ボスコ（03-3351-7041）

イグナチオ教会案内所（03-3230-3509）

東京カテドラル売店（03-3941-4971）

なお、共同体に属しておられる方は、代表へお申し込みくださっても結構です。

## 編集後記

四旬節という回心の時を経て、復活の希望に向かう季節となりました。

きびしい社会状況が続いていますが、すべての人に心を通わせながら、この時を乗り越える勇気と希望を与えてくださるよう主に願うと同時に、自らの生き方を問うて過ごしたいと思っています。（Y. I.）

発行 『マリアニスト』編集部

気付 「汚れなきマリア修道会」

町田修道院 清水一男神父

〒194-0032

東京都町田市本町田3050-1

TEL 042(722)6301

FAX 042(725)6317

HP: <http://www.marianist.jp/>